

不適合情報

2022年12月9日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	サービス建屋汚染検査所において、管理区域からの物品搬出の汚染測定準備を行っていた協力企業作業員のγβ線用警報付きポケット線量計が鳴動したことを確認した。線量計を確認したところγ線0.01mSvが記録されていたことを確認した。線量計使用前の確認で異常はなく、汚染検査所に被ばく線量に影響する物品もなかったことから、線量計の誤計測と判断。当該線量計の使用を禁止し、作業員の線量評価を実施。	2022/12/06	
2	2号機	原子炉建屋2階(管理区域)格納容器ドライウェルパージ(空気供給)用排風機点検の電動機の超音波測定において、カップリング側および反カップリング側の測定値が管理値を超えていること、および反カップリング側に異音の発生を確認した。潤滑剤の補給を行い再度測定を行ったが、状況に変化がないことから、振動測定を実施したところ、反カップリング側軸方向の測定値が管理値を超えていることを確認した。排風機を停止し安全処置を実施。格納容器ドライウェル入域規制を周知。当該電動機を点検・修理。	2022/12/03	
3	4号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(C)に潤滑油温度高の警報が発生し、自動停止したことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、他の冷凍機(2台)に異常はなく、中央制御室の冷却機能に影響なし。	2022/12/04	
4	5号機	サービス建屋ホットシャワードレン系排水槽ポンプ(B)電動機の点検期限を、ポンプ(A)が2023年2月頃までの予定で修理中で、ポンプ(B)を停止できないことから2023年3月以降に延長することを確認した。点検期限の延長について技術評価を実施。なお、現時点においてポンプ(B)の運転に問題なし。	2022/12/06	
5	7号機	中央制御室において、直流125V(7B)に地絡/漏電警報の発生を確認した。調査の結果、地絡電圧(+、-)のアンバランスと推定。ヒューズ引抜のリセット操作により警報を解除。当該事象の原因を調査。	2022/12/06	